

山名会年次総会

山名蔵での年次総会では、令和元年度の事業・会計決算の報告と令和2年度の事業及び予算につきまして協議いたしました。また会員各位の協力を得て行いました山名蔵外装修繕事業の報告及び、決算承認もいただきました。

事業報告

令和元年度の主な事業は左記のごとくです。

期日	事業・備考
11/10～11	25回総会、20名参加 群馬県高崎市・太田市
3/12	常任理事会、7名出席 京都セントノームH
4/8	山名赤松供養塔由来碑 修理 竹田城中腹
8/23	「宗全邸跡碑」清掃お 礼 京都市山名町へ
8月中旬	萬灯会協賛 川西市・多田神社
9月～11月	「山名第7号」編集作 業、令和2年発行予定
10月中旬～ 月末	山名蔵外装修繕工事 山名氏史料館「山名蔵」
11/17～18	26回総会、23名参加 出石・竹野・村岡

会計報告

令和元年度の会計につきましては左表の如くで昨年度に比べて多くの繰越金を残すことが出来ました。協賛金につきましては、前理事長の山名義範氏のご親族より追善の形で多額のご寄付をいただいております。誠に有り難うございました。この場を借りましてお礼申し上げます。

令和2年度の事業と予算
事業計画ですが、基本的に

会計決算書

は例年通りの流れになります。

- ◎常任理事会開催（春）。
- ◎会誌「山名第7号」発行。
- ◎山名会総会実施（秋）

予算につきましては、皆様からのご協力のおかげも有り、令和元年度よりも5万円程予算規模が増えています。

（予算書はP6参照）

その他には、山名会の一般社団法人化への対応や、他団体との交流についてご意見いただきました。今後、常任理事会で検討いたします。

山名第7号の発行

前号の「山名第6号」の発行から5年が経過しました。令和2年には「山名第7号」の発行が出来るように準備しています。掲載内容は平成27年～29年に行った山名会歴史講演会の講演を文書化したものになります。現在、講演会講師各位に内容の点検をお願いしているところです。

主な掲載文は左記のごとくです。

- ・「室町文化の歴史的意義」 松本公一先生
 - ・「京 応仁の乱の前と後」 山本義典先生
 - ・「秀吉・家康期の山名禅高」 伊藤真昭先生
 - ・「山名宗全の虚像と実像」 呉座勇一先生
- 出来上がりをどうぞご期待下さい。

山名蔵修繕事業報告

総会では、本年度実施しました山名蔵修繕事業報告及び決算報告も行いました。

平成3年建設の山名蔵も30年の月日が経過し、漆喰壁の傷み、塗装の色褪せ等が目立つようになり、本年度の山名会事業として外装修繕事業を計画し、山名会会員の皆様に

外装塗装前(上)と、塗装後(下)の
ナマコ壁部分



ご協力をお願いしましたところ、93万円ものご協力をいただき、安心して事業に取り組み事が出来ました。
修繕工事は、令和元年10月中旬に山名蔵を取り囲むように足場を組んで、月末にかけて作業にあたってもらいました。作業にかかってみると、今のヒビや亀裂の多さに驚いた次第ですが、壁の洗浄、ヒビ・欠落の補修、表面の塗装と丁寧な作業をしていただき、今後長期間にわたって現状を保つことが出来ればと願っています。(当事業の決算書はP6



竹田城・山名赤松供養塔敷地内
左：傾いている由緒碑、右：修理の様子。

を参照下さい。)
山名赤松供養塔由緒碑修理
尚、竹田城にあります「山名赤松供養塔」についてですが、こちらも平成元年に建てられた30年の歳月が経過し、敷地内にある供養塔の説明を刻んである由緒碑が前方に倒れかかっている状態です。山名蔵の修繕事業の一環として、処理し工事代金12万円を当事業会計から支出処理をさせていただきます。

協力者名

山名蔵修繕事業
ご協力者ご芳名



修繕・再塗装が完了した山名蔵。



足場を組んで修理中の様子。

ご協力感謝申し上げます
合計 金93万5千円也

書籍紹介



『本能寺前夜』
(SB新書¥913)

山名美和子著『本能寺前夜』
来年の大河ドラマは明智光秀を主人公としたものらしいですが、昨年山名会に入会されましたが、山名美和子先生がこの度、明智光秀に関するご本をお書きになりました。

近年明らかになった事柄を踏まえて、旧来の光秀像とは異なる人物像を描き出されています。大河ドラマのご参考に是非一冊。

内容紹介（Bookデータベースより）
明智光秀は、なぜ信長を討つたのか。光秀断か、それとも黒幕がいたのか：本能寺の変は謎に満ちており、動機については五〇を超えるさまざまな説がある。本書は、近年再考されてきた新たな提起にも焦点をあて、光秀の知られざる生涯、信長の重臣としての名将、名奉行の業績、本能寺の変以前の苦悩を丹念に追ひ、光秀の真の姿や内面に迫る。

山名会予算書

令和2年度山名会予算書（上）と山名蔵外裝修繕事業の決算書（下）

山名蔵外裝修繕事業の 決算書

編集後記

令和元年の山名会総会が無事終了しました。今回は皆さんにご協力いただいた山名蔵修繕事業の仕上がり具合を見てもらう意味合いもあって、但馬を会場としましたが、交通の便が悪く参加の皆さんには朝早くからの出発でご苦労をかけた。

山名蔵修繕事業については、会員の皆さんから合計で93万円もの多大な協力をいただき、安心して工事を発注することが出来、総会参加の方々には確認いただいた如く山名蔵が新築当時の外観に甦りました。

それと、今回は確認いただく時間が無かったのですが、竹田城内の山名赤松供養塔の由緒碑の修理も行ってあります。結果的にはありますが、山名蔵修繕の事業が有り、皆様からのご寄付をいただいていたタイミングだったので、こちらの修理も問題なく実施できました。事務局としては、有り難い限りです。

さて、次回の総会は如何いたしましょうか？まだ具体的な案を持っておりません。皆様のご希望やご意見などが御座いましたら、事務局や役員等にアドバイス願えましたら幸いです。